

令和5年度第8回理事会議事録

議事録作成者：事務局長 松谷昌典

1 日 時：令和6年3月21日（木） 19：00～22：30

2 場 所：公益社団法人日本パワーリフティング協会 本部事務局
〒678-0239 兵庫県赤穂市加里屋98-16

3 出席者（敬称略、順不同）：

【理事】古城資久、伊差川浩之、三浦重則、高井隆義、実島可斉、寺門浩之、
關本正志、花田祥之、杉本好二、菅生桃子、遠藤健太、福島政幸、
小野琢司、芦崎高志

※理事総数：15名、本日の出席理事14名

※理事の田中彰子は都合により欠席

【監事】安原 徹

※監事総数：2名、本日の出席監事1名

※監事の辻恵は都合により欠席

【陪席】鈴木 光（アンチ・ドーピング委員長）

佐々木陽一（国際副委員長）

後藤衆治（広島県）

大久保光信（エース航空社）

松谷昌典（事務局長）

理事の伊差川浩之、三浦重則、高井隆義、実島可斉、寺門浩之、關本正志、花田祥之、杉本好二、菅生桃子、遠藤健太、福島政幸、小野琢司、芦崎高志、監事の安原徹は電話会議システムを利用することによりこの会議に出席し、質疑・決議を行った。

4 開 会

定刻、古城資久会長（代表理事）が理事会運営規程により議長となり、電話会議システムにより出席者の音声の伝達がスムーズであり、質疑応答に支障がないこと、及び定足数を充足していることを確認したうえで、本理事会を開催する旨を述べ、議案の審議に入った。

5 議 長 古城資久

6 議 事

第 1 号議案：「令和 6 年度事業計画」の承認

令和 6 年度事業計画案について検討がなされた。審議の結果、「令和 6 年度事業計画」は出席理事全員一致で承認された。

第 2 号議案：「令和 6 年度収支予算書」の承認

収支相償及び公益事業比率を満たす令和 6 年度の収支予算書案について検討がなされた。審議の結果、「令和 6 年度収支予算書」は出席理事全員一致で承認された。

第 3 号議案：「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」の承認

当期中に資金調達の予定がなく、当期中に重要な設備投資（除却または売却を含む。）の予定がないことを記載した書類の検討がなされた。審議の結果、「資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類」は出席理事全員一致で承認された。

第 4 号議案：規程類改訂

(1) 協力団体規程案の承認

協力団体について定めた協力団体規程案が議場に諮られた。審議の結果、講習会に関する文言を一部修正の上、原案は出席理事全員一致で承認された。

(2) 加盟団体等倫理規程案の承認

団体処分に関する事項について定めた加盟団体等倫理規程案が議場に諮られた。審議の結果、原案は出席理事全員一致で承認された。

(3) 助成金等交付事業に関わる旅費及び諸謝金規程改訂案の承認

本協会への助成事業体が増加し、日本スポーツ振興センターの助成基準引用を主な内容とする規程では対応できなくなった。また、選手兼任役員の取り扱い及び、応募が多数になった際の選考について明確に定めた改訂案が議場に諮られた。審議の結果、助成金等交付事業に関わる旅費及び諸謝金規程改訂案は出席理事全員一致で承認された。

(4) 倫理委員会規程

対象に加盟団体等倫理規程を定義した倫理委員会規程改訂案が議場に諮られた。審議の結果、原案は出席理事全員一致で承認された。

第 5 号議案：J K A 助成金専用口座開設の承認

本年 7 月に長崎県対馬市で開催されるスポーツマスターズ記念事業について、応募していた「2024 年度競輪とオートレース補助金事業」の助成金採択通知が到着した。助成金専用口座の開設が必要であるため、口座開設について議場に諮られた。審議の結果、J K A 助成金専用口座の開設について、出席理事全員一致で承認された。なお、金額等の決定通知は 4 月以降の到着である。

第 6 号議案：アジアパシフィックアフリカ姫路大会について

2025年7月に開催されるアジアパシフィックアフリカ姫路大会の入国宿泊予約システムについて、2社へ提案依頼をかけていたところ、エース航空社が条件に見合う案を提出した。システム上でビザ申込及びホテル、移動の予約、支払いを完結することができるものである。エース航空社は千葉の国際大会受注実績もあり、競技の特性を理解していることから、本協会に寄り添う形でシステム開発が可能である。また、システム開発費用はエース航空社が負担する内容であり、本協会の支払いが不要となる唯一の提案であった。審議の結果、2025年アジアパシフィックアフリカ姫路大会における旅行代理店はエース航空社を採用すること出席理事全員一致で承認された。

第7号議案：国際委員会の委員追加について

岡村美里氏のプロフィールが提示され、国際委員長より推薦がなされた。審議の結果、岡村美里氏を国際委員会委員に登用すること出席理事全員一致で承認された。

第8号議案：国際審判員受験の推薦について

高校連盟より岡村美里氏の推薦がなされた。技術委員会において審査したところ、適性が認められる答申がなされた。審議の結果、岡村美里氏を国際審判員候補として国際パワーリフティング連盟に推薦すること出席理事全員一致で承認された。

第9号議案：知的財産権利保護における区分追加について

本協会の更なる発展のため、知的財産の権利保護について区分を拡張する提案がなされた。追加にかかる費用は約35万円である。審議の結果、出願すること出席理事全員一致で承認された。

第10号議案：アンチドーピング委員長パソコン購入の承認

講習会で使用するパソコンについて議場に諮られた。携帯性に優れるパワーポイント搭載コンピュータとしてスペック及び見積もり2機種と比較表が提示された。審議の結果、比較表で総合評価高得点を取得したパソコンを購入すること、出席理事全員一致で承認された。

第11号議案：令和6年度定時社員総会開催方法についての検討

令和6年度の定時社員総会開催方法について検討がなされた。オンラインでの参加ができるハイブリッド出席型を目指すものとし、総会の様子についても映像を配信して、多くの関係者に協会運営に対する理解を得ることを期待するものである。次回理事会までに、法令及び本要件を満たす総会の開催方法を準備し提案することが議場に諮られた。審議の結果、ハイブリッド出席型を目指して準備すること出席理事全員一致で承認された。

その他議案：(1) 今後の助成金事業について

ここ数年の全国大会は、役員招集が容易になることから、なるべく助成対象事業とすべく助成金等の申請を行なっている。ところが、助成金等の対象事業となると各種申請書類の整備や、事後の証憑書類整理など主管協会や本部事務局の業務負担も重くなる。一部役員に貴重な外部財源を用いている認識に乏しく、不適切な申請をする者も散見

され、その点検に時間を要している。本協会全国大会事業について、今後も助成金等を請求するか否か、現在作業が進行中の広島県協会の意見を参考に検討することになった。述べられた意見は、助成金により謝金、旅費、スポーツ器具などの得られるものが大きく、助成事業は歓迎する旨の内容であった。審議の結果、今後も予定通り助成事業に応募すること出席理事全員一致で承認された。

(2) アンチドーピング委員会提案事項

アンチドーピング講習会の有効期限についての問い合わせが多い現状がある。今後は具体的な有効期間を要項に記載して周知する方法に切り替えることが検討された。また、現在は前年度同大会の講習会受講歴は有効として認めているが、これが期間との齟齬を起し、問い合わせを誘発する要因となるため、今後は規程通り有効期限を1年とする。アンチドーピング講習会は月1回以上開催しており、各自が計画的に受講することで大きな問題は認められない。審議の結果、アンチドーピング講習会有効期限運用の変更案は出席理事全員一致で承認された。

(3) 実島理事の提案

ア. 国スポブロック大会の開催時期について

ブロックごとに開催時期が異なっており、本協会が各種決め事を行う際の障壁となっている。開催時期についておおよその統一をお願いすべきではないかという問題提起がなされた。検討した結果、ブロックごとの事情があることであり一概には決められず、本件は継続審議となった。

イ. 出場標準記録について

2月9日理事会において継続審議となっていた出場標準記録に対して意見がなされた。再度、標準記録向上や低減をするメリットデメリット、人数制限設定のメリットデメリット等が話し合われた。検討の過程で、本協会の大会定義を再度確認することや、今後の方針を決定するために今後選手にアンケートをとること等が提案された。本件は継続案件とし、次回理事会までにアンケートの原案を作成することとなった。

(4) 会長提案

ア. 仮称グレートゲームズ構想

日本グランプリが活況を呈し、応募開始直後に締め切る状態が続いている。今後は、メディア露出をイメージした華やかな大会を企画したい旨の内容であった。具体的には、最大挙上重量ランキング（パワーリフティングトップ14名、ベンチプレストップ20名）で出場者を募り、表彰は最大挙上重量と出場者フォーミュラトップの2系統、エキイップ&クラシックで実施する原案である。開催地との調整がまだであり、本件は継続審議とする。

ウ. 登録費について

昨今の物価高及び円安で、本協会の各種経費は上昇している。中央ス

スポーツ団体として、国際大会派遣に対して選手の自己負担が大きい状態が続いており、今後、選手へのサポートを行うためにも、選手登録会費等はこのままで良いか検討が開始された。本件は継続審議とする。

イ. 大会統合について

継続審議となっていた大会統合について、2025年度香川県において開催予定のベンチプレス大会から、クラシックとエクイップを統合する提案がなされた。大会期間はクラシック2日、エクイップ1日の合計3日間開催となるよう標準記録向上又は出場人数制限を導入する。審議の結果、大会統合案は出席理事全員一致で承認された。なお、参加者の制限方法について、実島理事提案のアンケート結果から別途決定するものとする。

(5) 事務局提案

国際大会のユニフォーム、審判員のネクタイ等の物品在庫管理について、システム導入することが提案された。ECサイトとロジスティックサービスの利用で、在庫管理、発送、集金を一元化するものである。審議の結果、出席理事全員一致で承認された。なお、準備が出来次第運用を開始する。

7. 報告事項

(1) 業務執行理事の自己の職務状況報告

古城資久会長（代表理事）及び、伊差川浩之副会長、三浦重則専務理事、高井隆義常務理事、実島可斉常務理事から、それぞれ自己の職務状況について報告がなされた。

(2) 令和5年度決算見込みについて

本年度の決算見込みについて報告がなされた。本協会は会費と助成金等による財源で運営しており、期末の財務状況は芳しくない。ジャパンクラシックパワー大会では、京都府パワーリフティング協会の尽力によって大幅な大会経費節減がなされ、本年度の財務状況改善に大きく貢献したこと会長から感謝の言葉が述べられた。

(3) 本協会の会員動向について

令和5年会員数が整理でき、ホームページに公表した。登録数は過去最高を更新、特に選手登録は全都道府県増加した。内訳では個人登録が増加している傾向がみられる。また、団体については減少している都道府県もみられたが、全体では増加傾向である。さらに、審判登録も学連では減少がみられたが、全体では増加傾向である。

(4) ガバナンスコード適合性審査評価

ガバナンスコード適合性審査の結果報告がなされた。本協会は外部の評価によってコード適合していることが認められ、高い評価を得ることができた。今後は都道府県協会のガバナンス向上に尽力するものとする。

(5) 令和6年度定時社員総会の予定

・令和6年度の定時社員総会 6月1日（土）14時～

- ・ジャパンオリンピックスクエア会議室（東京都新宿区）
 - ・ハイブリッド出席型での開催を目指すものとする。
- (6) 国際大会カメラマン
世界大会に帯同カメラマン着任の申し出があり、条件等の確認をすることとなった。
- (7) 都道府県における会計帳簿について
パワーリフティングの協会運営に条件を合わせた帳簿案を作成した。東京都の公認会計士辻本さんの協力を得て改良を重ねたものである。二重仕分け控除を定時社員総会で説明し、ガバナンス向上の一環として配布するものとする。
- (8) 組織委員会より
- ・群馬での第1回大会が無事開催された報告がなされた。
 - ・栃木県協会創立40周年記念式典開催の報告がなされた。
- (9) 次回理事会
令和6年5月9日（木）19時からWEBにて

以上をもって、電話会議システムを用いた本理事会は、終始異状なく全議案の審議を終了したので、議長は22：30に閉会を宣言した。

上記の議決を明確にするため、出席会長（代表理事）及び監事が次に署名又は記名押印する。

令和6年3月21日

公益社団法人日本パワーリフティング協会理事会

会 長
(代表理事)

古城 賢久



監 事

安原 徹

